

お茶の水女子大学

名誉博士誕生！

お茶の水女子大学は、平成十四年三月にお茶の水女子大学名誉博士授与制度を制定しました。

このたび本制度に基づき、最初の授与者として緒方貞子氏、ニュスライナーフォルハルト氏、柳澤桂子氏の三名を決定しました。

名誉博士は、優れた専門的営為において学術文化の発展に寄与し、かつ、本学の志向する女子教育・女性研究者の育成に貢献することにあります。

女性研究者を志向する若い女性たちにとって、極めて有効な役割モデルとなり得ることが期待されますので、三氏のこれまでの軌跡に学ぶことは、後に続く者たちにとって、大きな励ましと勇気を与えられる貴重な機会となります。このことにより、お茶の水女子大学名誉博士の称号を授与するにふさわしいものであることが認められました。

緒方貞子名誉博士

緒方貞子氏（前国連難民高等弁務官）は、国際政治学者として多くの業績を残すとともに、長年日本の大学において国際関係論の研究に従事し、上智大学国際関係学研究所長及び外国語学部長を務められました。

また、国連においては、一〇年間国連難民高等弁務官として難民への人道的支援に携われました。本年一月に開催されたアフガニスタン復興支援国際会議においては、共同議長を務められました。現在、日本政府のアフガニスタン問題担当政府代表として活躍されています。

ニュスライナーフォルハルト名誉博士

ニュスライナーフォルハルト博士（マックス・プランク発生生物学研究所遺伝学研究室長）は一九九五年にノーベル生理学・医学賞を受賞されています。

博士は、女性の数少ない、かつ最年少のノーベル賞受賞者として、その独自性の高い専門業績は瞠目に値いするとされています。加えて、一人のよき市民として、また、健やかな家庭と家族の維持者として、学生生活と日常の暮らしを極めて自然に両立させています。

柳澤桂子名誉博士

柳澤桂子氏（生命科学者）は、本学卒業後、発生物学において実験科学者として優れた業績を挙げ、病を得てからも、最先端の科学知識の普及や医療における問題提起に取り組み、人々の啓蒙に尽力して来られました。近年ますます重要性の高まる遺伝子治療や生命倫理などの問題に對しても、生命の歴史を踏まえた生命科学者の視点から、冷静で深い洞察を加え、現代日本社会における優れた思索家の一人として活躍されています。

ノーベル賞受賞者ニュスライナーフォルハルト女史来校！

名誉博士称号授与式及び記念講演会を平成十四年七月三日（水）に左記のとおり実施します。当日は般の方の参加も歓迎します。



ニュスライナーフォルハルト博士

記念講演会：十五時三〇分～十七時
お茶の水女子大学理学部3号館七〇二教室

称号授与式：十七時～十七時十五分
お茶の水女子大学理学部3号館七〇二教室

ニュスライナーフォルハルト博士プロフィール

- 一九六四 ヨハン・ヴォルフガング・ゲイテ大学卒業（生物、物理、化学）
- 一九六八 エーバーハルト・カルルス大学 修了Diploma（生化学）
- 一九七三 PhD（生物学）取得テュービンゲン大学
- 一九六九～七四 マックス・プランクウイルス研究所研究員
- 一九七八～八〇 ヨーロッパ分子生物学研究所（EMBL） Head of Group
- 一九八五～ マックス・プランク発生生物学研究所遺伝学研究室長